

## 第32回北九州市迷惑行為防止推進協議会 議事録

■日 時 : 令和4年6月24日(金) 14:00～15:20

■場 所 : 北九州市役所5階 特別会議室A

■出席委員 : 7名(敬称略)

会 長 : 大坪

副会長 : 佐方

委 員 : 大河内、武谷、濱田、平野、堀田(50音順)

■全体進行 : 安全・安心都市整備課長

■内 容 :

### 1 開 会

- ・委員、出席者紹介
- ・開会挨拶(谷山 市民文化スポーツ局 安全・安心担当理事)

### 2 議 事

- ・令和3年度実施事業報告
- ・令和4年度実施事業計画
- ・意見交換

※内容は以下、審議記録のとおり

## 審議記録（要旨）

### 令和3年度実施事業報告・令和4年度実施事業計画についての意見

#### 【委員意見】

- 地域活動支援団体が減った理由が、効果が出たことによる解散であれば、団体数を増やすことに固執しなくてもよいのではないか。
- 市政モニターアンケートの結果をモラル・マナーアップ活動に活かしてほしい。

#### 【会 長】

- 消極的な意味での解散でないため、悲観的に捉える必要はない。
- 市の取組み等を市民に理解してもらうことにより、マナーアップに努めていく人の割合が増えていくという仮説を立て、取組み等の認知度の向上を図ってきた。
- 様々な活動の結果、迷惑行為防止重点地区での路上喫煙及びゴミのポイ捨ての状況については改善された。また、迷惑行為防止活動推進地区でも、路上喫煙率の低下は一定の成果を収めている。

#### 【事 務 局】

- 小さいときからの教育も大事。また、市政モニターアンケートの結果、モラル・マナーアップ関連条例の認知度が低調だった30代、50代にも周知していくことが重要と考えている。
- 昨年、交通公園で行われた交通安全イベントでは、30代ぐらいの親と子どもに対する啓発を行うことで、子どもだけでなく、市政モニターアンケートの結果で認知度の低かった30代の方に対する啓発もでき、効果もあったと思う。またそのような場を設けることを検討していきたい。
- 地域の活動も継続して支援していく。

#### 【事 務 局】

- 犬の糞の放置やポイ捨てについては、市政モニターアンケートの結果では更なる改善を要望されているので、保健福祉局や環境局と情報共有及び連携を図っていきたい。
- その他の項目についても、関係部署との連携を図っていきたい。

#### 【委員意見】

- 市として、迷惑行為防止活動の取組みを広く周知することが、その第一歩である。
- 自治総連合会を通じて自治会に投げかけることが、マナーに対する周知で最も手近な方法と思う。

#### 【会 長】

- 自治会にあまり情報提供できていないため、その点を反省しつつ点検していきたい。

**【委員意見】**

○現在、地域で最も苦情が出ているのは、猫の糞の放置。

**意見交換**

**【委員意見】**

○道徳教育用教材は何年生を対象に配付しているか。

**【事務局】**

○教育委員会と協議し、小学6年生を対象とした内容の教材を作成して、各学校に配付している。

**【委員意見】**

○教材ではなくモラル・マナーアップのキャラクターであれば、小学3、4年生は理解できると思うので、キャラクターを用いた取組みも行ってはどうか。

**【委員意見】**

○時代や迷惑行為自体が変わってきている。マナーや教育等の共通理解が必要と考える。

○子どものうちからモラルに対する啓発を行うことが望ましい。

**【会長】**

○モラルのマナーアップのみならず、新たな迷惑行為についても、当協議会で併せて議論していく時期かもしれない。

**【委員意見】**

○学校教育で副読本のようなものを使ってモラルに関する授業をするのは時間的に困難と思われるので、出前講演等を実施してもらえばよいと思う。

○地域活動支援団体から地域での困りごと等について意見を聞くことも、今後の活動の参考になるのではないか。

**【委員意見】**

○地域に対しても、出前講演等を積極的に行っていけばよいと思う。

**【委員意見】**

○中高生と一緒に啓発活動を行ってもらうことや、大学生にボランティアの利用等で啓発活動を行ってもらうことで、彼らが大人になったときに自らモラル・マナーアップに取り組んでいけるのではないか。

○SNS等を利用して啓発を行うのも非常に良いと思う。

○迷惑行為防止に関する活動をすべての人にアピールすることが、迷惑行為防止につながると思う。